情報メディア学科
履修・成績に関する説明

【4年生】

情報メディア学科　教務委員

保証人の皆様
　ここでは、情報メディア学科の学生として充実した学修ができるよう、学科のカリキュラム編成の特徴や、それらに向けた必要事項・注意点・その他の留意事項を含めて解説いたします。

4年次の注意事項

　大学生活も残すところ数か月となります。しかし例年、単位取得や卒業研究の進行状況など、必ずしも順当ではない学生が見受けられるようになる時期でもあります。3年生まで順当に進学してきた学生であっても、研究活動や研究室での卒研指導、就職活動など、期が進むごとに、精神的にも大きなプレッシャーがかかってきます。

　今後、卒業研究の追い込みの時期にはいります。是非、卒業要件・卒業研究の進行状況・就職活動 について気にかけていただき、状況をこまめに確認していただくことが、順当な卒業に向けて大変有効となります。例えば、気が付いたら・・・

・卒業要件には問題無いが、卒業研究が進んでいない
・卒業研究は順当に進んでいるが、卒業要件を充足できない

そうなると

・就職内定が出ていても、卒業ができない

となりかねません。内定を獲得して安心してしまい、卒業するために必要なことへの意識が下がってしまう学生もいるため、今一度の確認が必要です。

卒業要件（履修要綱を参照）

　4年終了時に卒業するためには、卒業要件をクリアする必要があります。卒業研究履修の資格をクリアして卒業研究を履修するだけでは、卒業要件を充足することはできません。

- 合計124単位以上修得していること
- 必修科目を全て修得していること
  入学年度によっては、卒業研究履修の資格に記載されていない必修科目もあるため、修得できているか注意が必要
- 分類ごとの修得条件をクリアしていること
  英語系科目など、共通基盤科目の区分ごとの必要条件を満たすための単位が修得できているか確認が必要

　この条件をクリアできていない場合、4年次に卒業研究を修了できても、卒業できず留年となります。もし、まだ卒業研究以外の卒業要件をクリアするために必要な科目や条件が残っている場合、後期の履修登録で失敗すると留年に直結します。

卒業研究

卒業研究では、10月に中間報告書の提出、1月に卒業論文の提出と研究発表による審査が予定されています。この先、それらに向けて追い込みが必要になってくる場面も出てくるかと思います。そのため、精神的にもプレッシャーが高まってまいります。

卒業研究は指導教員以外の、学科所属の教員による審査によって合否が決められます。学生個人の思い込んだ基準で研究を完了しても、不合格となることも十分考えられます。

研究の進め方は個々に違いますが、指導教員は審査に合格するために指導へ力を注いでいます。審査に合格するためには、指導教員との意思疎通や指導に対する十分な取り組みが不可欠です。特にこの先の期間に指導教員と音信不通になることは、不合格に直結します。家族間でも状況を共有し、気にかけてあげて下さい。

就職活動

　大学では学生の将来に向け、無事に就職できるよう、キャリア就職課を中心に様々な取り組みを行っています。就職活動の早期化のため活動期間の長期化もあり、就職活動への意識が高まっています。

　その弊害として、学業への意識が薄れたり、内定を獲得できず疲弊してしまう学生も見受けられます。授業や卒業研究との板挟みにもなり、プレッシャーで精神的にも大きな負荷がかかることにもなります。また、前述したように、内定獲得後に安心してしまい、学業への意識が薄れてしまう学生も見受けられます。

　しかし、卒業要件をクリアできなければ卒業することはできません。内定を獲得していても留年してしまう事例も毎年数件発生しています。教員もそういったことへの配慮をしていますが、事情や状況は個人ごとに様々で、全てに対処することはできません。是非、家族間でも状況や事情を把握し、不慮の事態に陥らないよう注意して下さい。

以上となりますが、保証人の皆様より、気になることが御座いましたら、クラス担任までお気軽にご相談下さい。

クラス担任への連絡方法が不明な際には、

学生課: 046-241-9394 までご連絡下さい。

なお、教務課による成績表の見方などの解説につきましても併せてご確認下さい。

情報メディア学科
教務委員